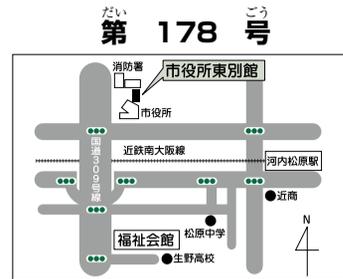




# 社協まつばら



編集・発行 社会福祉法人 松原市社会福祉協議会

〒580-0043 ホームページ

大阪府松原市阿保1-1-1 松原市役所東別館内 TEL.072-333-0294 FAX.072-335-0294  
http://www.matsubarashakyo.net E-mail webmaster@matsubarashakyo.net

※社協まつばら1月号に掲載のイベントなどは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止・変更になる場合があります。申込み不要のイベントなどについても事前にご確認ください。

## もしもしコール利用者募集

～電話での声かけ・安否確認でひと安心～

コロナ禍で、人と人とのつながりが今まで以上に重要となる中、ひとり暮らしの高齢者の方などが、地域で安心して暮らすことができるよう、協力員のボランティアが、電話で声かけや安否確認を行う「もしもしコール」を実施します。

詐欺がはやっているので  
気を付けてくださいね！



### 利用できる方

下記のすべてに該当する方

- ★市内在住の70歳以上の方で本人が希望される方
- ★自宅にひとり暮らしで、身体状況などにより声かけ・安否確認が必要なお方
- ★電話を取ることができ、意思疎通がある程度行える方
- ★その他、必要と認められる方

### 内容(無料)

- ①月に2回、火曜日または水曜日の午前中にボランティアが利用者に電話し、安否確認を行います。※祝日・年末年始は除く
- ②様子がいつもと異なる時や不在の場合などは、松原市社協を通じ、緊急連絡先や関係機関に連絡します。

### 利用までの流れ

松原市社協にご連絡ください。その後、担当職員がご自宅に訪問し、状況を確認の上、申請書に記入していただきます。登録後、ボランティアが電話をさせていただきます。

●問合せ・申込先 まつばらボランティアセンター ☎072-339-0741(担当:植野)

## 「自然災害に備えるイベント」を開催しました。

11月15日(日)に、松原市社会福祉協議会とさまざまなボランティア団体が協働して、家族や友だちと楽しみながら防災知識が身に付くイベント「イザ!カエルキャラバン! inまつばら」を開催しました。

コロナ対策として、限られた人数・時間内で体育館を広く使い、ゲームで使用するカードなどはラミネート加工し消毒液で拭き取りやすくしたり、受付や各ブースには手指の消毒係を配置するなど、できる限りの工夫を行いました。

水消火器体験・フェイスシールド作りなどの6つのプログラムを実施し、加えて松原市が購入支援を行っている災害時の非常持ち出し品などの防災展示ブースを設け、参加者に防災の知識や技を身につけていただきました。



水消火器を使った的当てゲーム

## まつばら子どもの居場所 広がる応援募金にご協力を

3年目に入った応援募金。「いつでも入っといで～」と、子どもたちを真ん中に、地域みんなでご飯を食べたり自由に過ごせる居場所をまちに作るプロジェクトのため、共同募金の一環としてテーマ型募金を実施します。募金は子ども食堂などに取り組む団体に助成しますので、多くのみなさまからの応援をお願いします。

- 募金受付期間：1月1日(金)～2月28日(日)
- 募金振込先：ゆうちょ銀行

口座番号：00930-7-129707

口座名義：(社福)大阪府共同募金会松原地区募金会

- 問合せ：松原地区募金会事務局・松原市社会福祉協議会

☎072-333-0294

松原の子どもたちに届けたい、「おたがいさん」って言いあえるほっこりした場所を増やしたいね



|          |           |
|----------|-----------|
| おすそ分け応援団 | 一口 1,000円 |
| ご近所さん応援団 | 一口 3,000円 |
| まちの人応援団  | 一口 5,000円 |

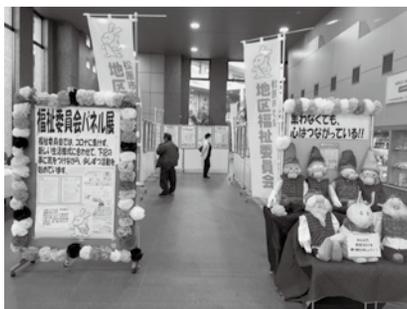
## おたがいさんのまちづくりセミナーのご案内

～興味のある方、ぜひご参加ください～

- 日時：1月20日(水) 13:30～15:00
- 場所：松原市役所 8階 大会議室A
- 講演：閉じこもりを予防しましょう  
～新型コロナウイルス感染症下での脳と身体の健康を守る秘訣～
- 講師：大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所 横井 賀津志 教授
- 対象：福祉委員・ボランティア・介護保険事業者・その他関心のある方
- 定員：35名(事前に申込み必要)
- 参加費：無料
- 申込先：松原市社会福祉協議会 ☎072-333-0294

## 「福祉委員会活動パネル展」を開催しました!!

11月16日(月)～20日(金)、市内の福祉委員会の活動を紹介した啓発パネル展を市役所市民ロビーで開催しました。パネルと作品の展示を行い、市民の方々に、活動を知っていただく良い機会になりました。今回のパネルは、昨年度の活動が中心でしたが、福祉委員会では、新型コロナウイルス感染症に負けず、新しい生活様式に合わせ少しずつ活動を始めています。



# 福祉委員会活動トピックス

福祉委員会は、町会・自治会などの身近な生活圏を単位とし、住民がボランティアとなって、自分たちの住むまちを「住んで安心・暮らして楽しいまち」にするために活動をしている団体です。

## ～集わなくても心はつながっている～

新型コロナウイルス感染症に負けず、新しい生活様式に合わせて少しずつ活動を始めています。

**一定の距離を開けての  
サロン会・学習会**

新型コロナウイルス感染症の対策のために、3密(密閉・密集・密接)対策を徹底して、行事を再開しています。

**ひとつや  
一津屋**



コロナ禍でも毎年恒例の寄せ植えで、明るい気分になりました。

**リモートによる  
学習会**

新型コロナウイルス感染症に対応して、ICTツールを活用して、離れてもつながっていることができるような対策を行っています。

**新まちだい  
新町第1**



認知症サポーター養成講座をZOOMで体験しました。

**かわい  
河合**



今後の行事を取り組むにあたって感染症の対策についての学習会を行いました。

**ひとつや  
一津屋荘園**



理学療法の先生による脳トレと体操を行い、介護予防に取り組みました。

**た い じょう  
田井城**



オンラインで棒体操の講師を見て、複数箇所に分散して少人数で体操を行いました。

**しゃ きょう  
社協**



福祉委員がスマホ教室で基本的な操作方法やライン、動画の見方などを勉強しました。

**べつ しょ  
別所**



新型コロナウイルス感染症、介護予防の話などの学習会を行いました。

**たん なん  
丹南**



ウォーキング前の準備運動の大切さ、ウォーキングの正しい歩行姿勢について学びました。

**見守り声かけ訪問・  
ポスティング**

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、見守り声かけ訪問や遠くから見守るポスティングなどを行っています。

**たつ べしゅうたく  
立部住宅**



コロナ禍でも感染予防をしながら、毎月行っている見守り訪問は継続しています。

**にし の の  
西野々**



今回の寺カフェは新型コロナウイルス感染症対策のため、ギター演奏をメインに楽しみました。

**う え だ い ち  
上田第一**



松原中学校の吹奏楽部の演奏で、みんなが癒されました。

**い け うち  
池内**



新型コロナウイルス感染症が拡大しても、見守り声かけ訪問はマスクをするなど感染症対策を強化して行っています。

**しん どう きた  
新堂北**



見守りや声かけ・遠くから見守るポスティングなどで、毎月いろいろな情報をお届けしています。

# ま っ ば ら 大 じ ゅ ず つ な ぎ

まつばら人をリレー形式で紹介するコーナー  
岩田 光代さんからの紹介で

第82回目 **まきしま ひろこ 牧嶋 博子さん(天美東在住)**

**おかしま はるえ 岡島 春栄さん(天美南在住)**

華道と茶道を教えるおふたりは、市役所・消防署・地域の小学校の玄関に花を生けるボランティアをしています。多くの方が目にする場所が、美しく良い環境になればと思い活動しておられます。また、日本伝統を伝える小学校の文化クラブで、

茶道の指導もされています。一連の作法を学ぶことで、あいさつ、思いやり、協力し合うこと、道具(物)を大切にすることを伝えたいと思っておられます。先日は、一輪挿しの指導を子どもたちにされたそうです。花を生けることで、自然界に目を向け、花の形・色・名前など、その花の良いところを見るようになると感じておられ、子どもたちが、人の良いところにも目を向け、素直に「ありがとう」や「ごめん」と言える子に育つことを願っておられます。土曜子ども体験活動の行事では、クラブ以外の子どもたちにもお茶席を楽しんでもらっているそうです。「人に喜んでもらえることが生きがいです」「い

つまでも健康で活動を続けていきたいです」とお話ししてくださいました。



共通の趣味は映画鑑賞。とても気の合うお2人です。

# シニア向け やさしくわかるスマートフォン体験教室

- 日時 ①1月20日(水) ②3月23日(火)  
10:00~12:00(どちらか1日)
- 場所 まつばらテラス(輝) 3階 多目的ホール
- 定員 各20名(①・②の日程どちらかの申込。1月12日~14日まで電話にて受付。初めての方を優先し、応募多数の場合は抽選。当選者のみ15日以降に電話にてお知らせし、案内通知を送ります。)
- 参加費 無料(スマートフォンはこちらで用意します)
- 持ち物 筆記用具・案内通知書・マスク着用・お持ちの方はスマートフォン
- 講師 ソフトバンク スマートフォンアドバイザー
- 申込先 松原市社会福祉協議会 山野 ☎072-333-0294

# げんきもん 元希者カフェ「ハンドメイド・クラブ」

- ボランティア講師によるハンドメイド(小物づくり)を開催します。初めての方も安心してご参加いただけます。みなさんと楽しい時間を過ごしてみませんか。
- 日時 1月25日(月)・2月10日(水)の13:30~15:00
  - 場所 まつばらテラス(輝) 3階 多目的ホール
  - 対象 2日間参加できる方
  - 内容 1日目:折り紙で作る着物のオーナメント  
2日目:おひなさま飾り
  - 参加費 1日につき100円(材料費込)
  - 定員 15名(1/18から1/20まで電話のみ受付・初めての参加者を優先・応募多数の場合は抽選・1/20に当選者のみ電話でお知らせします。)
  - 主催・申込先 松原市社会福祉協議会 ☎072-333-0294  
※マスクの着用をお願いします。

# 認知症サポーター養成講座

- 認知症について正しく理解し、認知症の人やご家族を温かく見守る応援者(サポーター)になろう
- 無料**
- 対象 松原市内在住・在学・在職の人
  - 内容 認知症の症状について、認知症の人への接し方や支援方法、本人や介護者家族の気持ちの理解など  
※修了後にオレンジリングを進呈します。
- | 日程       | 時間          | 場所                      |
|----------|-------------|-------------------------|
| 2月16日(火) | 10:00~11:30 | まつばらテラス(輝)<br>3階 多目的ホール |
- 申込先 松原市社会福祉協議会 ☎072-333-0294  
※研修参加にあたり保育が利用できます。  
NPO法人 子育て支援ほけっと  
☎072-268-2182 FAX072-284-7733まで直接お申し込みください。

# 安心して暮らせるまちづくりを目指して 認知症サポーターステップアップ講座

- 日時 2月13日(土) 13:30~15:00
- 場所 まつばらテラス(輝) 3階多目的ホール
- 内容 第1部 「認知症は予備群でストップすることが肝心です!運動で認知症予防をしましょう」  
講師 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所 横井 賀津志 教授  
第2部 「認知症サポーターとしてできること」  
講師 松原市社会福祉協議会
- 対象 これまでに認知症サポーター養成講座を受講された人  
認知症キャラバン・メイトの人
- 定員 50名(先着順)
- 申込先 松原市社会福祉協議会 ☎072-333-0294

# フードドライブ活動へご協力ください!

松原子どもの居場所づくりネットワークでは、食品ロス削減の取組みとして、各団体と連携し、フードドライブの実施や身近な場所で食品を寄付できる環境づくりを進めています。集まった食材については、子ども食堂を運営する団体やフードバンクに寄贈などを行っています。3密(密閉、密集、密接)防止対策を講じたうえで実施していますので、垣根を越えた広い活動へのご理解・ご協力をお願いします。

●フードドライブ:各家庭で眠っている食品を持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクに寄付する活動

- 日時 3月1日(月)~3月5日(金)  
10:00~15:00
- 場所 松原市役所 1階 市民ロビー
- 対象品目 ①米 ②乾麺(うどん・そばなど) ③乾物 ④缶詰 ⑤調味料  
⑥飲み物(お茶・ジュース)などで、次の条件をすべて満たすもの。  
※未開封のもの。賞味期限が2ヶ月以上あるもの。常温保存できるもの。
- 主催 松原子どもの居場所づくりネットワーク
- 問合せ先 事務局 松原市社会福祉協議会 ☎072-333-0294
- 後援 松原市



# 障がいのある方の生活応援隊! まつばらピアセンター mini通信

## コロナ禍による新しい生活様式 聴覚障がい者の場合

新型コロナウイルス感染症の発生により、マスクをつける・三密を避けるなど新しい生活様式に変わり、聴覚障がい者をめぐる社会の対応にも変化がありました。

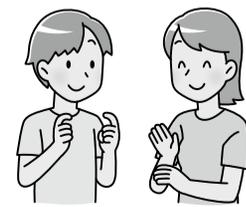
マスクをつけることにより、以前よりもコミュニケーションをとることが難しくなっています。コンビニのレジで店員から何がたずねられるときは、マスクをつけたままだと、口元が見えないので何を言っているかわかりません

が、聞こえないということがわかって、マスクを外して話してくれるなど理解ある対応してくれる店員がいると嬉しくなります。手話通訳者もマスクをつけて最近では透明マスクをつけるようになったので通訳がわかりやすくなりました。

また、医療現場で手話通訳者を同行するとき、手話通訳者も新型コロナウイルス感染のリスクを強いられることが増えました。中には手

話通訳の同行を断られるケースも出ていていると聞いています。感染リスクを防ぐため、医療現場にタブレットやスマホを通じて遠方にいる手話通訳者が通訳する遠隔手話通訳サービスという新たな支援体制が始まっています。感染のリスクを気にせずすみませんが、医療現場の誰もが手話で話せるのが一番の理想ですね。

聴覚障がい担当ピアカウンセラー 伊藤



# 善意銀行

ご寄付お礼申し上げます。お預かりしました金品は、市内の社会福祉事業に払い出いたします。

令和2年9月1日～令和2年11月31日(敬称略)

## 金銭預託

●オオイ 13,216円

## 物品預託

●松原アーバンコンフォート(理事会)

マスク132枚

●イソノ薬局 マスク450枚

●松尾 眞治 車いす1台

●大阪府調理食品協同組合

煮豆1,100食・佃煮1,114食



たくさんの調理食品をご寄付いただきました。

高齢者などの見まもり訪問時に、ご寄付いただいた食品をお配りさせていただきました。



## 善意の箱

●松原警察署 10,594円

●カラオケ喫茶きらめき 3,452円

# ボランティア募集

募集は以下のもの以外もあります。ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.matsubarashakyo.net>

募集No. 385 子どもたちと一緒に身体を動かしたり歌って楽しい時間を過ごしましょう

- 誰と関わる：障がいのある児童
- 活動内容：①施設内で障害のある児童と寄り添い、話し相手、送迎車両への添乗  
②掃除、遊具の消毒  
③調理補助  
※①は14時～19時頃、②は18時以降もしくは午前中、③は主に午前中希望
- 活動日時：月～金曜10:00～19:00の中で応相談(祝休み)
- 活動場所：放課後等デイサービス キッズ・スタイル北花田(堺市北花田駅から徒歩5分)
- 発信者：株式会社 Keep On Going キッズ・スタイル北花田
- 問合せ先：まつばらボランティアセンター ☎072-339-0741 (担当：植野)

# 「松原まつのみ吹奏楽クラブ」の部員を募集します

## 吹奏楽をずっと続けていきたい人に

●活動内容 地域の演奏活動(校区フェスタなど)などに参加します

●応募条件 中学校を卒業した人(高校生・大学生・一般社会人など)  
楽器は、各自持参(打楽器とチューバは用意します)

入会金・年会費は無料

●活動日時 月に1～2回程度、日曜日の10:00～15:00に練習をします

●活動場所 ワークセンターまつのみ

松原市南新町1-10-2 ☎072-336-3233

●問合せ・申込先 直接発信者へ ☎090-1677-2149 担当者 大西 悦夫

# ～withコロナでのボラ連だより～

終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症ですが、3密を避け、「新しい生活様式」に沿った形で、さまざまな工夫・アイデアを凝らして活動を続けていたり、社会課題に向き合い、活動している団体がたくさんあります。新型コロナウイルスの感染予防をしながら、やれること！ということで、今月号では3つの団体の「今」について紹介させていただきます。

## まつばらし松原市ディスコン協会

以前のディスコン大会開催時には140名余りが参加されていましたが、今回は感染予防のため午前午後に分かれて、午前は協会の交流大会に、午後はインストラクターを中心に定期的に活動している3地区の交流大会を実施しました。入室時の検温やアルコール消毒を徹底するため、入口を一か所だけにしたり、2コートのみ使用とし、1チーム3名、試合中の選手の待機場所も1.5mの間隔をあけました。長引く自粛生活でストレスが溜まり運動不足の方が多量中、ソーシャルディスタンスを十分とりながら、のびのびとプレーされていました。



## やんちゃまファミリーwith

新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛のため、松原市内の子育て支援センターも休止となり、行き場を失ったママたちは深刻な状況に置かれていました。さまざまな生活課題を抱えるママたちにどのような影響が出ているかを電話でアンケートを行い、ママたちの居場所の必要性と大切さ、子育て支援センターや子育てひろばの需要が大きいことを知り、各家庭が深刻な状況に陥る前に、電話による個別のアウトリーチ訪問、絵本メッセージボタン活動、愛情いっぱいのお弁当配達、笑顔をおすそわけ松原フードパントリーなどを行い、ママたちと積極的に関わる新しい寄り添い方に取り組んでいます。



## まつばらけいちょう松原傾聴ほのぼの

傾聴ボランティアは、どこの市でもほとんど施設訪問できていないこととされます。それでも、工夫しながら活動を続けています。仲間と集まる機会を作り、定例会や研修会を開催。9月の研修「電話のできるアクティブリスニング」は、会えなくても電話でもできる傾聴活動のコツを学び、ボランティア活動はもとより、ご家族や友人とのやり取りにも役立つ内容でした。11月には事例検討会を行い、傾聴ボランティア役と話し手役に分かれ、透明アクリル板を挟みロールプレイを行い、意見交換をしました。傾聴はこんな時代だからこそ、大切だと思えます。

